

区民を守り、夢をつなぐ 未来の江東に向けて前進

令和4年第一回区議会定例会が2月24日から開会されています。会期日程は3月30日(水)までの35日間で、「令和4年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

山崎区長が所信を表明



区長所信表明(要旨)

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症については、一昨年1月の国内感染者の確認から2年が経過しましたが、オミクロン株の猛威による感染拡大により、依然として厳しい状況が続いています。

本区ではこれまで、「区民生活」「区内事業者」「医療機関・従事者」の3つを支えるため、令和2年度は9次、令和3年度もこれまで8次にわたる補正予算を編成し、スピード感を持ってさまざまな対応を進めてきました。

令和4年度においても、急激な感染拡大に伴う保健所業務の逼迫に対応するため、電子カルテシステムの活用やPCRセンターの民間委託など保健所の体制を強化するほか、医療機関の感染者受け入れ等に対して補助金を交付するなど、地域医療の安定化を図るとともに、区内共通商品券の発行やキャッシュレス決済のポイント還元、中小企業融資に係る信用保証料や利子の補助など、引き続き3つを支えるさまざまな取り組みを行っています。

新型コロナウイルスワクチン接種については、全国に先駆け、昨年12月に高齢者施設入所者への3回目接種を開始し、2/2からは、国の前倒し方針に即応し、18歳以上のすべての方を対象に、接種間隔を6か月に短縮し、実施しています。現在、接種対象は5歳まで引き下げられていますが、接種を希望す

るすべての区民の方が少しでも早く接種できるよう全力で取り組んでいきます。

現段階では、新型コロナウイルス感染症の収束を見通すことは困難ですが、区民の安全と安心を守るため、今後も全職員一丸となって対応していきますので、区民の皆様、事業者の皆様には、どうかご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

令和4年度予算編成の大綱

日本経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から徐々に回復しつつありますが、現下のオミクロン株の感染拡大に直面し、国民生活や経済への影響が見逃せない状況となっています。また、先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気が持ち直していくことが期待されますが、下振れリスクにも十分注意する必要があるとしています。

こうした経済情勢等を踏まえ、国の令和4年度予算は、いわゆる「16か月予算」の考え方のもと、令和3年度補正予算と一体として編成し、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、「成長と分配の好循環」による「新しい資本主義」の実現を図るための予算として編成され、一般会計総額は、前年度比0.9%増の、107兆5,964億円で、過去最大の予算規模となっています。

また、東京都の令和4年度当初

予算は、「都政に課された使命を確実に果たし、次なるステージへと力強く歩みを進めることで、希望ある未来を切り拓いていく予算」として編成され、一般会計総額は、前年度比5.1%増の7兆8,010億円で、過去最大の予算規模となっています。

区民を守り、夢をつなぐ未来への前進予算

本区を取り巻く財政環境ですが、特別区税は、納税義務者数の減少が見込まれるものの、所得環境の改善などにより、555億7,400万円、前年度比2.9%の増、また、特別区交付金は、公共施設改築工事費の臨時的算定などにより、交付金総額で前年度比6.5%増の582億3,900万円としています。

しかし、税源偏在是正措置の影響やふるさと納税による減収の拡大に加え、直面するオミクロン株の感染拡大の影響によって、今後、

歳入環境に多大な影響を及ぼすことも予見され、先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした中、本区の令和4年度予算は、変化する社会経済環境の中にあって、新型コロナウイルス感染症対策を着実に進めるほか、行政のデジタル化への対応、ゼロカーボンシティの実現、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー継承の具現化や地下鉄8号線の延伸など、未来の江東区へ向けて着実に前進する予算と位置づけ、「区民を守り、夢をつなぐ 未来への前進予算」として編成しました。

また、長引く新型コロナウイルス感染症対策として、区民の安全・安心を守るため、88億1,000万円を計上し、引き続き「区民生活」「区内事業者」「医療機関・従事者」の3つを支える取り組みを進めていきます。

3面へつづく

掲載している情報は3月30日現在のものです。最新の情報はお問い合わせください。